



## 新型コロナウイルス感染症対策

緊急事態宣言の期間が6月20日まで延長されました。既に配布しました『1日付の帯広市こども課からの連絡文書』には、

- ・こまめな手洗いや手指のアルコール消毒の励行
- ・全職員のマスク着用の徹底
- ・よく触れる場所や玩具の消毒
- ・定期的な換気の実施(30分に1回以上)
- ・クラス単位での保育を基本とするなど、密を減らす工夫を行う
- ・職員室において、飲食時は会話せず「黙食」を実践する
- ・発熱、咳等風邪症状がある場合はお休みしてもらうよう、再度通知を徹底する。  
→お休みをお願いする期間:解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善するまで

などの指示が改めて書かれていました。

帯広の森幼稚園では昨年来、保護者の方々のご協力を賜りつつ、子ども達の健康を守るため、職員一丸となって感染予防対策を徹底してまいりました。今後も対策を継続していく所存です。引き続き、ご理解の程よろしくお願いたします。

緊急事態宣言延長に伴っての行事の変更については、過日シルフでお知らせしたとおりです。その後、6月1週目段階で新たに調整した日程をお知らせします。

### ○プール

5月分年長 → 6月22日(火)年長  
6月延期分 → 8月25日(水)年少  
8月26日(木)年長  
8月30日(月)年中  
9月15日(水)年少

○6/22観劇 → 形を変えて後日実施

○6/25内科検診 → 延期(日程は後日)

○7/2太陽園訪問 → 形を変えて実施  
子ども達のメッセージを録画してDVDを届けます。

○7/17童謡まつり → 文化ホールでは行わず、代わりに園独自でYouTube配信(この日は登園日ではなくなります)

○7/21お泊まり会 → 泊まらずにわくわく会として実施

保護者の方も同様だと思いますが、私どもの願いは、子ども達に『通常どおり』『普通どおり』『コロナ以前』の生活を送らせてあげたいということです。子ども達の健康を最優先に、知恵と工夫を結集して、できるだけ『普通』に近い園生活・保育を展開していきたいと考えているところです。

(「童謡まつり」など各行事の説明については改めてお知らせいたします。)



## 蝉時雨の下で



6月に入り、園の周りの森では早くも蝉が大合唱しています。

「お部屋に蝉の抜け殻があるんだよ。  
園長先生の部屋にはないの？」  
「ないんだよ。」  
「そしたら見においで。」

子ども達は頭で考えるより先に、五感で自然を受け入れているようです。

## どろ遊び



掘る・盛る。流す。運ぶ。固める。崩す。  
握る。踏む。汲む。削る。積む。

子ども達は飽きることなく「ビルド&スクラップ」を繰り返しています。

「この辺一带をどろ遊びゾーンにしたら、  
子ども達は大喜びですね。」  
と先生達をつぶやきが聞こえました。  
なるほど……考えておきます。



## リズムに乗って



青空の下。園庭の芝生の上で、裸足になってリズム遊びです。

順番が来たら、リズムに乗って、笑顔で。  
待っている時は、背筋をピッと伸ばして、  
体育座りで手拍子をしたり、かけ声をかけたり。

室内では様々な制限をかけて活動していますが、外ではある程度緩めて、存分に深呼吸です。

## 園長からのお願い

『手と目を離さないで』『挨拶』など、いろいろお願いしているところですが、今回は『聞く』ことです。

お子さんの話を『目を見ながら聞いて』あげてください。そのように毎日を過ごしている子どもは『聞く力』が

高まり、その力もしっかり定着します。

近年「話す力」「伝え合う力」が重要視されていますが、それらを支える基礎となるのが『聞く力』なのです。